2022年度 第二回愛知校教育課程編成委員会「整備」会議報告書

1. 開催日時2023年2月17日(金) 10:00-12:002. 開催場所日産愛知自動車大学校 多目的ルーム

3. 出席者

(学校外委員) 団体代表 西 和幸 様 愛知県自動車整備振興会 次長 欠席

企業代表 山口 純丙様 日産プリンス名古屋販売株式会社 課長代理

企業代表 小泉 富美雄様 愛知日産自動車株式会社 課長 企業代表 稲垣 俊夫様 日産サービスセンタ株式会社 次長

(学校内委員) 部長代理 鈴木 貴久 教育部

 課長
 加藤
 敏彦
 教育部、学務部

 統括
 中務
 健之
 教育部
 上級課程担当

 上級主事
 今野
 雄一
 学務部
 就職担当

4. 議題

- ・ご挨拶
- 1. 日産資格試験結果報告
- 2. 国家試験学習進捗状況
- 3. 自主性・主体性の評価(一級自動車工学科3.4年生の取組)
- 4. ICT授業について
- 5. コロナ禍からの脱却
- 6. 24/4入社就職状況
- 7. 今後の市場の動きと落とし込み
- 8. 東京オートサロン出展車両見学

<u>5. 議論</u>

1)意見交換と質疑応答 いただいた貴重な意見・指摘については、今後の授業に反映していく。

14 Dil	1)意見交換と質疑応答	=======================================	いただいた貴重	
種別	項目	所属	質問者	主な意見
1	日産資格試験結果報告	説明内容		・各資格の合格率は、2年生「日産整備士3級:99.2%」、一級3年生「日産フロント3級:100%」、一級4年生が「日産整備士2級:100%」となった。 その他、カーボディマスタ科においても「車体整備士3級:100%」、「塗装士3級:100%」となり、高い合格率を達成することが出来た。
	国家試験学習進捗状況			「2年生 自動車整備科 国家試験対策」 年々平均点が下がる傾向にある。日産5校統一試験の平均点や前年度同時期の模擬試験結果と比較しても結果が悪い。 留学生増加により(2年生全体の7割が留学生)国家試験対策の進捗が遅れることを見込んで例年より早い4月から国家2級学習を開始。 成績のランク別にクラスを作り、時間や学習内容を管理し、低位層には、指導教員を多く配置して対応。 また、留学生の成績低位者には別途対応を強化し、学力向上を目指す。
				「3年生 カーボディマスター科 国家試験対策」 日産校では愛知校と京都校だけ車体整備士のコースがある。 模擬試験の結果については前年度との比較すると概ね良好であるが、平均点と最低得点を比較すると大きな乖離がある。また昨年度は、1名の 不合格者が出ていることから、例年2回だった日産校統一試験を4回へ増やし、更に学生の苦手な個所を洗い出すことでフォローの強化を図る。
2				「4年生 一級自動車工学科 国家試験対策」 平均点は直近4年間と同程度。また日産5校統一試験においては、5校平均より高い得点で推移している。 しかし、得点分布をみると中間域学生が少なく学力が二極化。高得点の学生が多くを占めるが一部低位の学生が目立ち、今後重点的にフォロー していく。
1				今後は、模擬試験を繰り返し行い、見直しとして教科書の読み込みを重視するよう指導。更に得点率の低い問題を洗い出し、一つ一つを完全に潰 し込むことで、全体得点を持ち上げていく。
		プリンス名 古屋	山口 様	愛知校は留学生が多く、留学生対応のノウハウも多い。 就職する留学生に対して販売会社側も苦戦している。愛知校の留学生は話すことは得意だが、漢字が読めないことが多い。
		日産サービ スセンター	稲垣 様	国家一級試験の傾向と対策をしっかりしているが非常に難しい内容である。勉強以外でのサポートに工夫はどのようにしているか? →メンタル面では臨床心理士や担任以外の教員が話を聞くようにしている。
		学内		ー級4年生のインターンシップにおいて、各販売会社でお世話になった際に、先輩方から一級取得のメリットを直接聞くことで学生のモチベーション向上につながっている。.
	自主性主体性の評価 (一級自動車呼応額か3.4 年生の取組)	説明内容		3年生 自主性主体性の取組 アクティブラーニングの一環として、電子制御における故障診断をグループでまとめ、クラス内で発表をしている→これを全実習授業で実施。 質疑応答において、教員や学生同士でも多くの意見交換をし論理立てた故障診断が学べている。授業中も学生同士が集まり学生同士で教え合っ たり考える場面が多くみられる。 また本年から学生主体での国内研修を導入。学生自ら、企画、立案、交渉、調整、展開、実施、報告等を行う。
3				4年生自主性主体性の取組 卒業研究において、企画、予算見積もり、計画書作成から学生が主体となって実施している。 ルーブリック評価を導入し、自主性主体性の向上を見える化にした。 学生からの進捗報告が主体的にあった「工程管理を学生同士で指摘しあえる」「計画に遅れがあると軌道修正を自ら立案するようになった」等、自 主的、主体的に動くケースが増加している。
		プリンス 名古屋	山口様	ルーブリック評価と学業成績が紐づけられると、学生の成長がもっと見やすくなるのでは。 自主性主体性の高い学生さんは、伸びしろが大きいと思う。 ルーブリック評価と成績が、どれくらい相関関係があるのか、データをとっていただき、結果を教えていただければ 大変ありがたい。
		愛知日産	小泉様	4年生の工程管理について、日々流動的な業務の中で工程管理ができることは、現場で生きる力だと思う。 自動車の空調(暖房)性能に関して、カリキュラムにいれていただいても良いと思う。 車種によっては構造上ヒーターが効きにくい場合がありそのような場合ダクトのどこを塞ぐと車の風の中の動きが変わるなど、現場ではデジタルなことだけではないため、アナログな事例も経験すると良い。
4	ITC教育の推進	説明内容		今年度の1年生より、chromebookを配布、また大型モニターも活用し、よりICT教育に力を入れている。 モニターやカメラを利用し教員の手元を拡大し表示。細かい作業も分かりやすくなる工夫をしている。 また、chromebookの活用で作業説明を動画にし、何度も繰り返し確認できるように改善。 従来実習ノートに手書きさせていた測定データをスプレッドシートに記入させペーパーレス、またGIF等のアニメーションを利用したノートづくりをする学生も。 クラス全体で他の班のデータも見られることで情報量が増え、効率も上がる。 オンデマンド授業を充実させることで、急な感染症対策による在宅授業も迅速に対応ができるようになった。動画数は現在合計600を超える。
5	コロナ禍からの脱却	説	明内容	新型コロナウイルスの影響を受け3年、様々な環境に変化が訪れ、特に学校行事のほとんどが中止になったが、今年度より感染症対策をしながら徐々に学校行事を再開。 ①2年生カート大会の実施 ・昨年実施できなかったカート大会を2年生の3クラスが日を分けて実施。 ②1年生では産学連携授業の実施し、2年生は国内研修も実施。一級の学生はサービスブロック大会にも参加した。 中部ブロック大会が愛知校にて開催、一級3.4年生がスタッフとして参加することで、日産自動車や販売会社の方々と連携を取りながら準備、設営、当日のフォロー、片付けの中で多くの学びを得られた。また一級科学生の日産販売会社の就職希望率の向上にもつながった。 ③学園祭の実施、学生実行委員会が主体となり運営。

		愛知日産	小泉様	サービスブロック大会では、学生との関わりでお互いに良い経験となった。 学生スタッフが多すぎると意見を頂いたが、学生の活躍からご理解を頂いている。
6	24/4入社就職状況	説明内容		23/4就職対象は152名。内、留学生は87名と過去最多の人数であった。 24/4就職対象は87名と大きく減少した。要因は、留学生入学者が昨年87名に対して今年29名と、コロナの影響で留学生の数は大幅に減少したことが要因。 コロナによる入国制限が緩和されてきたため、24/4入学の留学生は、また増加して、60名ほどに戻るとみている。
7				令和9年度より資格制度変更に伴いカリキュラム変更が必要。 特に電気回路・安全システムの理解などは必須であると思われる。 就職に向け、取得が望ましい資格やカリキュラム変更についてご意見をいただきたい。
		愛知日産	小泉 様	不正車検の問題が大きなニュースとなった。法令順守に関する教育をお願いしたい。 また、貨物(キャラバン)が入庫することもあるため、貨物の整備記録簿について取り入れていただきたい。
		日産サービ スセンター	稲垣 様	やはり、法令順守が大事であると考える。
8	東京オートサロン出展車両	説明内容		1月に開催される東京オートサロンに向け、6月中旬には、コンセプト立案講座を受講し車両企画の立案や制作準備、カスタム内容の議論を開始。 車体制作は学生主体で行うようにし教員側からはフォローのみ。学生同士で意見を出し合い自ら考えて制作に取り組んだ。 実際の東京オートサロンでは、多くのメディアに掲載いただき、また学生たちが、自身らで制作したカスタムカーをお客様に説明したことも良い経験 となった。